

1. 幼稚園の目標	2. 本年度の重点目標
カトリックの愛と祈りの精神に基づき 神様を愛し人を愛することができる 子どもに育てる	・心を育てる ・宗教による情操教育 ・縦割り保育 ・小学校連携の充実のカリキュラム ・環境衛生 ・挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成 ・モンテッソーリ教育 ・地域との交流

3. 目標・評価					外部関係者から	
①こころを育てる (心の優しい子・ありがとうごめんなさいと言える子・注意集中する力があり落ち着きと忍耐力がある子)						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	生きる力の育ち	自分で考えて判断できているか	正しい目標を定めそれに向かって努力する心の強さを担う	3.9	自分でできる喜びを味わえるよう発達に合わせて援助しながら見守ることも大切にしていった。できた時は一緒に喜び認めることで次の意欲へとつなげていった。子どもたちに自然と寄り添うことができるように子どもたちの声にしっかり耳を傾けることを意識した。	モンテッソーリ教育や縦割り保育により子どもたちは家庭的な雰囲気の中で、日々、達成する喜び、努力の大切さを知るなどの貴重な経験を通じて、健やかに成長していると思います。今後も神さまの似姿となれるよう、寛容な心の育成を図ってみたいと思います。 やる気満々の若い先生、経験豊富な先生方が協力、努力しておられることを感じています。今後、経験を伝えるとともに初心に戻り語り合い若い先生のやる気を盛り上げるようにして頂くことで新しい風が漂うことを期待します。
	思いやりの心の育ち	相互のつながりをふやす	縦割り保育で家庭的な雰囲気をつくる	4.2	家庭的な雰囲気の中で、全クラス異年齢でのかかわりができ年下のお友だちにやさしくかわかる姿がたくさん見られたので、今後もこの雰囲気を大切にしていきたい。	

②宗教による情操教育 (神様にお祈り出来る子・明るくいいきいきした子・じっくり判断し行動できる子)					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	神様に愛されていることを知る	すべてのものに感謝する心を学ぶ	自己肯定感と善悪の判断をつけ正しいことを実行できる良心を形成する	3.8	宗教教育の中で、職員も子どもたちと共に学び祈ることができた。神様の存在が身近なものとなるよう、日々のお祈りや絵本を通してみんな神様に愛され見守られていることを伝えていった。日々の保育の中でも教会で祈る機会を増やし、神様に心を向ける時間を作っていきたいと思う。	全園児が神様の存在を身近に感じることを通して、誰にでも思いやりをもって丁寧に接していると思います。素直に話を聞き、共に祈る姿に喜びを感じます。身近な人に感謝(ありがとう)隣人にも喜びや悲しみも分かち合える子どもになってほしい。 また、教会の関係者の方々と園児・保護者との交流が行事の時だけでなく、日々の園生活の中でもより多くあれば、子どもたちの成長の糧やヒントを与えていただけるのではと期待しております。

③モンテッソーリ教育 (子ども一人一人をよく観察し子どもたちが何を求めているか知り一人一人に合わせて提供する)					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	望ましい人格形成を行っていく 体を動かしながら 体験を深める	こどもの動きの中に意思を入れ人的環境 物的環境を通して こどもの発達を援助する	・お仕事の時間 ・縦割り活動 ・人との関りの中の体験活動 ・教具 ・研修	3.3	園内外の研修を通して、すぐに実践に生かされたところもたくさんあるが、一方で、子どもたちひとりひとりを観察して、今何に興味関心があるのかを見極め、基本から発展までつなげていったり、「やってみよう」という気持ちを引き出せるようもつと環境を充実させることができたのではないかと反省点もある。物的環境はもちろんのこと人的環境で先生たちの立ちふるまい、声の大きさ、言葉使いなど子どもたちに大きな影響を与えているということを十分に意識して子どもたちと関わっていかねばならない。	モンテッソーリ教育を通して、子どもたちが様々な学びに意欲を持つように努力されていると思います。先生方のモンテッソーリ教育の研修の賜物だと思います。これからは物的環境と人的環境の充実を図って頂き、子どもたちが積極的にお仕事に取り組んでいただければと思います。

④小学校連携・地域との交流 (園外活動・散歩・慰問・松原清掃・小学校見学など)					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	小学校や地域に興味をもち つながりを深め親しみ を持つ	活動の体験を 学びの自立へ 持っていけるよう 促す	生活習慣の徹底、 精神的自立、ができるよう 一人一人年齢にあわせた 関わり方で接する	3.1	年長児は園外活動も増え、小学校見学に行き校内や授業の様子を実際に見て体験することで、入学への期待をさらに膨らませることができた。他の学年は、遠足以外に近くの畑までは出かけることはあったが、その他散歩などが少なかったため、今後は全学年、地域との交流をもっと増やしていきたい。また、生活習慣の徹底を目標に、ひとりひとりの年齢に合わせて適切な援助を行うように今後も意識して関わっていきたい。	小学校見学などを通して、小学校で子どもたちがより心豊かに成長できるような土台を築いている。また、学校生活でのマナーやルールも、先生方から折に触れ子どもたちによく説明がなされており、保護者の不安が解消されるよう配慮がなされている。また、地域との交流にも常に心を砕かれていることにより、地域の皆さまからの子どもたちへの温かい眼差しを感じます。

4 本年度のまとめ
コロナの制限が緩和され、行事では参観人数が増えたりと保護者の皆さんと共に子どもたちの成長を見守ることができた1年だった。モンテッソーリ教育を通して「ひとりできた」を味わえるように、未満児クラスでは特に時間にゆとりを持ってひとりひとりゆっくりいねいにかかわるよう心がけた。以上児クラスでは、見本を見せて「自分でやりたい」気持ちを大切に、ゆとり見守り待つことを心掛けた。また、不必要な援助にならないように見極め適切にかかわっていくようにした。 今年度から導入した2・3歳児のクラス移行は、子どもたちの成長の過程を見ながら慎重に進めていったが、初めての試みで子どもたちも戸惑うこともあったが、年上の子が温かく迎え入れてくれ徐々に慣れていくことができた。来年度は今年度の反省を生かしスムーズな移行が行えるようにしていきたい。

達成度
A(5) ほぼできた
B(4) 概ねできた
C(3) 少しかけた
D(2) 不十分だった

外部関係者より総評
先生方の多大なる努力により、重点目標を確実に達成されており、子どもにも保護者にも地域にも信頼され愛される幼稚園であると思います。先生方の努力の成果がすぐに子どもたちの行動、そして笑顔となって現れるのを拝見し、子どもたちの可能性を信じ、愛情深く教育されていると感じられます。縦割りや横割りそれぞれの特性を活かしながら教育されている事が、子どもたちの社会性を養う大きな原動力となっていると考えられます。いつも子供たちの事を考え、新たな取り組みも積極的に取り入れられることに感謝申し上げます。これからも、子どもたちの個性豊かな素晴らしい才能を開花させる教育を実践していただきたいと願っております。